

せ ん

ぼ 通信 No.54

ば・あ・や・の・う・け・う・り

〔整形外科〕

年末に、母が部屋で転んで病院へ…。
「大腿骨骨折で、手術するなら明日できます」。
明日って大みそか…無理です。 それに…
こんな91歳で手術するんですか？

「日本は素晴らしい国なんです。 医療に年齢制限はありません。 手術の目的は、

感染症・合併症の予防…発熱から肺炎等の
リスクを下げます。

痛みの緩和…オムツ交換や着替えのたびに
痛むので、その激痛をなくします。

年齢に関係なく、転べば骨折しやすい場所で、
新人医師でもできる、簡単な手術です。」
主治医の説明が、感動するくらいわかりやすく
一週間後に手術を受けました。

病室を出てから1時間半後、もどって来た母は、
何ごともなかったように笑顔に…。

高齢者の検査や手術ってどうなのかな？って
思っていたが、手術はやってよかったです。

寝たきりになって退院しましたが、当人は、
転んだことも、病院でのことも、覚えてなくて、
「ありがとう…ありがとう」と。 認知症も、

幸せなところもあるのですね。

「あそこはつらいです…道路脇に
バリケードがずうっと…家や店が
あの日のままで…車で走りぬける
だけでもつらいです」。

原発事故後、避難したまま、
戻れない、国道6号線沿いの町。

今、お仕事であちらの方へ？。

「そうです。なんて言ったらいいか
…」と、Mさんは本当につらそう。

長年…建設業界での技術者さん。
その技術に、自信と誇りをもって
働いてきたのですね。

だからこそ…、

自分の家に戻れない人たちの
悲しみやくやしさを…、

置き去りにされた、無人の家々の
なげきのようなものが、

誰よりも、伝わってくるのでしょうか。

人ごとではなく…

我がことのように。

もしも誰かが 君のそばで
泣きだしそうに なった時は
だまって腕をとりながら
いっしょに歩いて くれるよね
世界中の やさしさで
この地球を つつみたい

合唱曲・「ビリーブ」の歌詞の一部…ピアノ伴奏の
孫の練習を聞いていて、いい曲だね…と好きに。
しずかな勇気がでてくる…早春の夜です。

かゆまんまひとさじごとにおいしいと
ほほえむ母とビリーブのうた



あ～んして… 7歳と91歳